

2018年5月21日

各位

会社名 株式会社東京個別指導学院  
代表者の  
役職・氏名 代表取締役社長 齋藤 勝己  
(コード番号 4745・東証第一部)  
問合せ先責任者  
執行役員 阿川 靖  
TEL 03-6911-3216

# アルバイト講師数 10,000 名を突破

## 独自の人財育成メソッドによる成果

ベネッセグループの株式会社東京個別指導学院（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：齋藤 勝己）は、2018年5月21日現在において、アルバイト講師数が10,196名になりましたのでお知らせ致します。

厚生労働省が四半期ごとに実施している労働経済動向調査（平成30年2月調査）の労働者過不足判断指数において、パートタイム労働者（アルバイト）は34期連続で労働者不足という結果になりました。正社員、アルバイトともに全ての産業で労働者が不足しており、企業にとっては採用数充足が困難な社会情勢が続いています。

そのような環境の中で当社は、2018年5月21日現在、アルバイト講師（パートナー）の数が過去最高の10,196名に到達することができました。

当社パートナーは、現役大学生がおよそ8割を占めています。一般のアルバイト応募に加え、主体的に働くパートナーの姿をみた元生徒の方の応募や、働くパートナー自身の紹介による先輩・同期・後輩による応募が、安定的な増加に寄与しています。



その他にこの講師数10,000名突破の背景には、当社独自の人財育成メソッドである『TEACHERS' SUMMIT』の成果があります。『TEACHERS' SUMMIT』とは、当社で働くアルバイト講師（パートナー）1人ひとりが「実践を通して学ぶ」「主体的に働く」を仕組み化したものです。すべての個別指導教室による「教室年間計画」の作成を起点に、年間を通じてPDCAを回し、社員である教室長によるマネジメントのもとで実践を通して学びます。PDCAの過程では定期的に報告会を開催し、他教室の取り組みや改善策を共有します。学び合い高め合う「ナレッジ共有」の場です。

3月には、首都圏と西日本にわかれ、もっとも学びのあった教室を参加者全員の投票により選出し、表彰します。（2018年3月開催のTEACHERS' SUMMIT 2018では首都圏約2,000名、西日本約1,000名が参加）パートナーは『TEACHERS' SUMMIT』を通して、企業が求めるチカラである「コミュニケーション能力」や「主体性」を実践を通して学び、成長します。その経験を就職活動に生かし、社会に出てからもさまざまな業種で活躍しています。

会社全体で「パートナー1人ひとりの成長」を軸に活動してきた結果、オリコン『大学生のアルバイトに関する調査』※1では、「仕事にやりがいがある」「仕事を通じて成長できる」「社会人に求められるコミュニケーションスキルが身につく」などの項目で、他のアルバイトを圧倒する高い評価を得ております。

◇データで見る東京個別、関西個別の特徴◇ <https://www.tkg.jp/data/>



※1 データで見る東京個別、関西個別の特徴  
オリコン『大学生のアルバイトに関する調査』より

このような取り組みや評価が浸透し、アルバイト講師（パートナー）の数は堅調に推移しております。

当社ビジネスモデルの根幹には、パートナー育成にフォーカスすることで、生徒、パートナー、社員それぞれが成長できるという考え方があります。互いに学び合い高め合う組織文化を背景とした「人の活力」が当社事業成長の根幹であり、「個」と「組織」の成長の連鎖によってチームの力で成長していきます。

これからも、こういった独自の人財育成メソッドに磨きをかけることで、持続的な事業成長を実現してまいります。

#### ※1 『大学生のアルバイトに関する調査』より抜粋

調査方法: インターネット調査(各項目 100点満点にて換算)

調査対象者: 3か月以上継続して勤務している現役学生アルバイト 973名

調査実施期間: 2018年1月17日～2018年2月16日

調査企画: 株式会社 oricon ME

以上